

千葉県白井市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設と運営(1年目)

開設事業の様子



千葉県白井市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設と運営(1年目)

開所式・お披露目会の様子



開所式は5月25日(土)に開催しました。

白井市長の笠井様、白井市教育委員会教育長の井上様をはじめ、自治体関係者の皆様、子どもの支援に関わる施設の皆様、小学校の皆様をお招きしました。

日本財団の金子様、渡邊様、菅原様にもお越しいたいただき、事業のご説明をいただきました。

開所式を通して、子ども第三の居場所事業の新拠点となる“CoMADO(こまど)”を多くの方に知っていただき、自治体各課の取り組みとの繋がり、連携についても相談する機会を得ることができました。開所PRサポートをいただき、地域の情報発信サイトの方が取材にいらしてくださいました。



開所式の後、同日にお披露目会を開催し、地域の自治会長様や子ども支援団体の皆様、近隣にお住まいの皆様にお越しいたいただきました。施設内をご覧いただきながら事業内容の説明や目的・展望をお話させていただき、ご質問やご意見をいただける機会となりました。

千葉県白井市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設と運営（1年目）

開所前の配布資料



令和5年度より、日本財団が全国を対象に取り組んでいる「子ども第三の居場所」事業の助成を受け、白井市・日本財団・まどかこどもレグル並びにまどか幼稚園が連携し、まどか幼稚園の敷地の一角に新施設「CoMADO（こまど）」を開設・運営することとなりました。学校でも家庭でもない子ども達の居場所を作り、分け隔てなく子ども達をあたたく迎え入れ、教育や食育、様々な体験の拠点となるよう、また地域の皆様と子ども達の未来を共に守り育ていける場となるよう取り組んでまいります。至らない点多々あるかと思いますが、白井市にとって良い取り組みとなりますよう尽力いたしますので、お力添えをいただけますと幸いです。これからどうぞよろしくお願いいたします。

子ども第三の居場所 開室について

開室曜日：火・水・木曜日

開室時間：放課後～日暮れ

※利用者登録あり

※放課後～日暮れは立ち寄り利用可

※日暮れ後の利用は事前申込み制



1階 コミュニティスペース

学習スペース

プレイスペース

2階 図書スペース（階段）

ワークスペース

キッチン

学校でも家庭でもない 子どもたちの第三の居場所として
だれでも立ち寄り ほっと一息つける場所として
子どもたちと地域をつなぐ 窓のような存在になれることを目指して
2024年6月 CoMADO（こまど）の運営を開始します。

CoMADOが目指す場所作り

■ 家庭でも学校でもない子どもの第三の居場所

小学生の子どもたちが放課後の時間に思い思いに過ごしたり、家族でも先生でもない大人と関わったり、学校とはちがう友達関係を育んだりできる居場所を作ります。

■ 学習、食育、体験、多世代交流などの活動場所

落ち着いて学習できる空間、心身の成長を支える食育となる調理や食事の時間、新しい興味がひらき深める体験活動、多世代の方が交わる機会を日常的に作ります。

■ だれでも立ち寄れるコミュニティスペース

中高生のための学習スペース、未就学の親子向けの教室、大人の方が自分の得意分野を広げたり発揮したりする機会など、様々な世代の方が関係する場を設け地域コミュニティの活性を目指すと共に、子どもを見守る地域のつながりを作ります。



千葉県白井市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの開設と運営(1年目)

開室の様子



階段の図書スペースでは、絵本や図鑑を読んだり、小さな子どもに読み聞かせをしたり。宿題や折り紙をする姿も見られます。



1階の土間は学習スペースとして、大きな机とカウンターを設置しています。その日使える材料で工作をはじめめる子どもたちもいます。



6月はきせつの活動として梅仕事をおこない、梅シロップと梅干しを仕込みました。7月には七夕飾りと短冊づくりもおこないました。